

仙台市職員採用セミナー



【土木職】

青葉区建設部公園課

男性職員

自己紹介①

- 出身：福島県福島市(高校卒業まで)
- 入庁までの経歴：

H19.3 大学院修了 栃木

H19.4～ 民間会社入社(コンサル) 東京

H22.9～ 民間会社転職(コンサル) 東京・仙台

H30.4～ 仙台市入庁(社会人経験者・土木) 仙台

自己紹介②

- 入庁までの生い立ち

10代後半：東京への強いあこがれ

20代前半：東京で就職（飲み会ばかり）

20代後半：スペシャリストを目指し転職

30代前半：東日本大震災の経験を経て、
仕事と子育ての両立に悩み、
地元東北で働きたいと考え、
仙台市役所に転職

仙台市の志望動機

なぜ公務員？

- 市民のニーズを直接聞ける環境で、「地域に根差した土木技術者になりたい」と考えたため

なぜ仙台市？

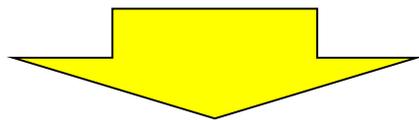
- 前職で仙台に転勤、豊かな自然、街の活気を感じて、本市が好きになった
- 自分の経験を生かし、まちづくりに携わりたい、転勤がなく、仕事(共働き)と子育ての両立が図りやすいと考えたため

3

仙台市での異動歴

平成30年4月～

建設局河川課（4年間在籍）



令和4年4月～

青葉区公園課（現在2年目）

①令和元年台風19号で **主たる業務!** 被害を受けた河川の災害復旧



←被害の一例

- ・大雨で大量の土砂が
河川に堆積、護岸損傷
水田に土砂流入

○設計業者さん、建設業者さんの全面協力の下、スピード感を持って災害復旧事業を実施

② 中小河川における 低コスト魚道整備・市民連携

民間時代の専門性を活用
した先進的取り組み！



○土木研究所と連携した魚道開発、市民連携（WS・シホジウム）、全国多自然川づくり事業での発表等

4

配属先での業務：青葉区公園課

③公園施設（こけし塔）の修繕

SNS上も高評価！

←昭和36年に
仙台商工会議
所が中心とな
り、伝統工
芸・観光振興
のシンボルと
して設置

○設置当時の配色
を参考とし、
伝統的な色彩で
周辺景観に調和
する配色を選定



民間企業と仙台市役所との違い

民間企業の時代に重視してきたこと

- ・ 利益追求
- ・ スピード感
- ・ 専門性の強化
- ・ 他社との競争

市職員として重視していること

- ・ 法的根拠
- ・ 市民への説明責任
- ・ 公益性追求(大局的視点)
- ・ 地域連携(大学等を含む)

◇民間企業と仙台市役所との違い

- ・ 民間時代は専門性を磨き、技術的な課題を解決する技術者として努力してきました
- ・ 市職員になってからは、より大局的な視点で社会的な課題(地域要望の吸い上げ等)の解決まで意識して仕事を行っています

民間経験で役に立ったこと

- 民間では様々な資格を取得する機会に恵まれた
⇒ 同じ技術者として、**業者さんと対等な関係**を保ちながら仕事ができる
- 民間では全国各地の多様な発注者(国・都道府県等)と仕事をしてきました
⇒ 仙台市と他の地域を比較をし、**他の地域に負けないような事業を実施したい**と意識して仕事ができている

仕事のやりがい・メッセージ

【仕事のやりがい】

- 地域要望を聞き、事業計画の立案から、維持管理まで一貫して担当できる。
- 感謝の言葉を直接聞ける。

【社会人経験者の皆様へのメッセージ】

- 仙台市そのものに魅力を感じている
- 地元(東北)に戻り民間経験を行政に生かしたい
- 仕事と子育ての両立を図りたい 等

→こうした考えをお持ちの方は、
仙台市役所での仕事がお勧めです！